

第1次子どもの読書活動推進計画における施策の実施状況

基本方針(施策)	施策の詳細	計画の中の関係事業	関係事業の実施状況(平成29年度～令和2年度)	次期計画での記述・施策など	事業主体	事業No.	データの根拠
1 子どもの読書環境の整備・充実	(1)読書環境の整備	《家庭・地域》 市立図書館の団体貸出やブックセットの設置、リサイクル図書を活用して、読書環境の整備を図る。	・団体貸出の利用率…学童約50%、障害者支援施設約20%、児童センター0% ・児童館・児童センター7施設にブックセットを設置(R1…各66冊、R2…各15冊) ・保存期限切れ雑誌の提供(R1まで毎年)(令和元年度の利用施設数は2施設にとどまった。) ・新設のおおたかの森児童センターに、リサイクル図書を寄贈(R2)	★児童センターの声…「大型絵本のレバトリーが増えたら活用したい」 →資料の充実に努め、団体貸出の利用拡大を図ります。	児童館(センター) 学童クラブ 市立図書館	1	調査票(子育て関連施設)質問1、質問2、質問6
		《家庭・地域》 乳幼児向けブックリストの配布とブックセット設置により、乳幼児と保護者が本を手にとれる機会を増やす。	・乳幼児向けブックリストを保健センター及び各図書館で配布し、図書館ホームページで公開 ・ブックセットを各図書館、保健センターに設置 ※R2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、ブックセットは利用できないようにしています。(保健センター) ★設置した施設の声…「親子活動の際に活用したり、来館者が利用したりしています」「継続していただくと嬉しいです」「図書の予算がないため、ブックセットの設置はとて助かる」「最近児童館では乳幼児の利用が多い。いただくと乳幼児利用が助かる」	・ブックリストの配布は、保護者の選書の助けとなります。引き続き、ブックリストの配布・公開を実施します。 ・市内すべての保育所(園)、幼稚園へのブックセットの設置を達成しました。設置施設からは、子どもが読書に親しんでいると報告されており、継続を望む意見もあります。今後は、新規開設施設への設置を進めていきます。	市立図書館 健康増進課(保健センター) 子育て支援センター	2	調査票(子育て関連施設)質問6
		《家庭・地域》 図書館と連携し、保護者に向けて家庭における本の読み聞かせの大切さを伝え家庭読書を普及させる。	・図書館ホームページ内に家庭読書のページを作成(R2) ・家庭読書におすすめの本のリストを公開、配布(R2) ・家庭読書をテーマとする展示の実施(R2)	・コロナ禍により、家にいる時間が増え、家庭での読書の重要性は増えています。今後も、おすすめの本の紹介や展示を通して、家庭読書の普及に努めます。	子育て支援センター 児童館(センター) 学童クラブ 公民館 市立図書館	3	
		《図書館》 子どもが使いやすい図書システムを研究し、計画的に更新する。	・図書電算システムの更新(子ども向けホームページを作成。スマートフォン・タブレット端末から図書館電算システムが利用可能に)(H30)	・引き続き、子どもが使いやすい図書システムづくりのため、計画的なシステム更新に努めます。	市立図書館	9	
		《図書館》 長く読み継がれてきた基本的な図書を揃えて蔵書の構築を図るとともに、新刊も積極的に購入し、魅力ある蔵書構成となるよう努める。	・市立図書館の児童書の蔵書数…平成28年度137,642冊→令和元年度142,073冊	・引き続き、魅力ある蔵書の構成に努めます。	市立図書館	10	図書館年報
		《図書館》 子どもが本を使って調べやすいよう、レファレンスブックの充実を図るとともに、内容やデータが古くなった本の刷新に努める。	・レファレンスブックの充実と、内容が古くなった本の差し替えを実施(随時) ・児童書2,236冊を廃棄(R1)	・引き続き、レファレンスブックの充実と、内容が古くなった本の刷新に努めます。	市立図書館	11	
		《図書館》 多様なニーズに対応できるよう、「こども図書館」では、仕掛け絵本や点字絵本、布の絵本、外国語絵本等の特色ある資料も所蔵する。また、子ども向けの電子書籍の利用促進を行う。	・こども図書館を中心に、仕掛け絵本、点字絵本、LLブック(知的障害のある人や日本語を母語としない人にもわかりやすいよう、絵や写真、ふりがな、大きな文字などで書かれた本)、外国語絵本の所蔵点数を拡大 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、こども向けの電子書籍の所蔵点数を46タイトルに拡大(R2)	・引き続き、外国語絵本やバリアフリー資料など、多様なニーズに対応する資料の充実に努め、潜在的利用者の利用促進を図ります。 ・電子書籍の充実、周知に努めます。	市立図書館	12	
		《図書館》 子どもが自ら本を探せるよう、わかりやすい書架表示や配架に努め、季節やテーマに合わせた展示を行う。 ■関連: 目標とする指標②	・探しやすさを高めるため、対象年齢ごとに資料を配置 ・中央図書館児童室では、流山市図書館のキャラクター「くま館長」をあしらったサインを作成し、著者名や資料のテーマごとに探せる書架表示を実施 ・各館で季節やテーマに沿った展示を実施(随時)	・引き続き、探しやすい配架とわかりやすい書架表示に努め、季節やテーマに合わせた展示を実施します。	市立図書館	13	
		《図書館》 「こども図書館」については、併設の学校と連携をとり、調べ学習の手助けとなる資料の充実に努め、ブックトークや団体貸出などで学校を支援する。	・ブックトーク、団体貸出を実施(随時) ・こども図書館の職員が併設のおおたかの森小・中学校図書館司書を兼務することで、連携の緊密化(R2～) (併設のおおたかの森小・中学校にて、学校図書館司書が授業の支援(単元に関連する資料の収集、調べ物の支援)、オリエンテーション、郷土資料・パンフレットの収集、教科書掲載作品の別置を実施)	・引き続き、子ども図書館については、併設のおおたかの森小・中学校と連携をとり、学校の支援に努めます。	市立図書館	14	
		《学校》 子どもたちが読書の楽しさを味わえるような図書や、教科書に掲載された作家の作品、学習指導要領に対応した図書を計画的に購入し、授業の質を高める図書資料の充実に努めるとともに、蔵書を常に見直し、子どもたちと教員が共に活用できる学校図書館の整備と更新に努める。	・中学校・高等学校の蔵書冊数は増加傾向 ・1施設あたりの購入冊数は、小・中・高等学校は400冊前後、特別支援学校は75冊(R2) ・蔵書冊数全体に対する購入の割合は、最高値が中学校の6%、最低値が高等学校の1.8% ・蔵書の廃棄…小学校で約6割、中学校で3割の学校で実施。高等学校、特別支援学校では未実施。 ・蔵書冊数に対する廃棄の割合…小学校1施設あたり2.4%、中学校1施設あたり8.2%	・引き続き、図書の計画的な購入・見直しに努めるとともに、学校図書館の整備と更新に努めます。	学校教育課→指導課 学校	35	調査票(学校)質問2(1)
		《学校》 パソコンやインターネット環境を整備し、様々なメディアから情報を読み解く力を身につけられるよう、インターネットによる本の情報の調べ方を子どもたちに指導し、学校図書館や本の活用につながるよう努める。	(1)パソコン・インターネット環境 ・パソコンは、小学校で1台あたり児童20人、中学校で1台あたり生徒42人、高等学校で1台あたり生徒24人、特別支援学校で0台の割合で設置 ・タブレットは、小学校で1台あたり児童28人、中学校で1台あたり生徒5人、高等学校・特別支援学校で0台の割合で設置 ・小中高等学校では、概ね1クラスの人数に対して1台ずつパソコンを整備 (2)インターネット等による調べ方の指導 ・小中学校では、ほぼ全校で、高等学校や特別支援学校では、1校で情報検索の仕方を授業で教えている	・小・中学校に、一人一台タブレットを設置します。(流山GIGAスクール構想)	学校	36	調査票(学校)質問3
		《学校》 学校間や、市立図書館と図書の情報をパソコン上でやりとりができるようにオンライン化を検討する。	・未実施		学校 市立図書館	37	
		《学校》 学校は市立図書館の団体貸出やブックセットを活用し、授業の充実に努める。 ■関連: 目標とする指標⑤	・団体貸出は、平成28年度と比較して、小中学校では利用している学校数が増加(小学校14校→16校、中学校4校→8校)。高等学校では横ばい(1校→1校)、特別支援学校では利用なし ・団体貸出の希望があった単元のブックリストを作成(随時) ★アンケートの声 「団体貸出で利用させていただいた児童の学習が深まりました」「他校と時期が重なっていたりして思ったように借りられない場合がある。毎年必要になってくる本や、その時期は決まっていますので、各学校でなるべく購入していければと思います」	・引き続き、団体貸出を活用し、授業の充実に努めます。	学校 市立図書館	38	調査票(学校)質問9
		《学校》 市立図書館が開催する学校図書館担当者向け研修会に参加して、選書の仕方、子どもが本を手にとりやすい配架の仕方、本の紹介の仕方などを学び、学校図書館の読書環境が充実するよう努める。	・学校図書館担当者が、中央図書館で開催の研修会へ参加。授業での図書館活用方法や読書推進を中心に読書環境の充実に努めるとともに、他校との情報交換を実施(毎年) ★研修に参加した学校図書館司書の方の声 「講演やブックトークの実演、大変参考になりました」「他校の司書の方々と実際にお会いし、情報を交換できたこと、実際に各校で行った活動や工夫を共有でき、ありがたかったです」	・実践的な内容を学べて他校との情報共有も図れると好評です。引き続き、学校図書館担当者や市立図書館が情報交換を行いやすい環境を作ります。	学校 市立図書館	39	学校図書館司書研修会アンケート
		《保育所(園)・幼稚園》 発達段階に応じた図書資料の充実に努める。	・保育所(園)は、1施設当たり平均約408冊所蔵。最低冊数は50冊、最高冊数は3192冊(R2) ・幼稚園は、1施設当たりの平均蔵書冊数は約2153冊。最低冊数は30冊、最高冊数は4000冊(R2) ・ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」で、市内すべての保育所(園)に各66冊以上、幼稚園に各53冊以上のブックセットを設置		保育所(園) 幼稚園	49	調査票(子育て関連施設)質問1
		《保育所(園)・幼稚園》 市立図書館の団体貸出やブックセット、リサイクル図書を活用して、読書環境の整備を図る。 ■関連: 目標とする指標⑤	(1)団体貸出 ・団体貸出の利用率は、保育所(園)で14%、幼稚園で0% (2)ブックセット ・市内全保育所(園)、幼稚園に設置 ★施設からの声…「内容も長く各年齢で読めるものでよかったです」「絵本は高いため、沢山いただけるので子ども達も喜んでます」「ブックセットを親子で読めるコーナーを設定するなど、保護者にも携わってもらえるような環境づくりをしています」「今後も続けていきたいです」「ブックスタートのかけ方など参考にさせていただいています」「ブックセットの設置により、子どもたちも絵本を楽しんでいる」「今後も続けてほしい」「降園前に絵本・紙芝居・素話等を読んでいる。心を落ち着かせる効果がある」 (3)リサイクル図書 令和元年度まで実施。1回につき2施設程度の利用に留まった。	・幼稚園は蔵書冊数が多い施設が多いため、団体貸出の機会がなかったと考えられます。	保育所(園) 幼稚園 市立図書館	50	・調査票(子育て関連施設)質問2、質問6 ・ブックセット配布時アンケート
		(2)人的サービスの充実	《図書館》 計画を推進するために、司書の適切な配置を進めるとともに、図書館職員は積極的に児童サービスに係る専門機関の研修に参加し、専門技術の向上に努める。	・司書資格を持った新規職員を3人配置(R2) ・職員が県立図書館主催の研修会を中心に参加	・引き続き、司書の適切な配置と専門技術の向上に努めます。	市立図書館	22

基本方針 (施策)	施策の詳細	計画の中の関係事業	関係事業の実施状況(平成29年度～令和2年度)	次期計画での記述・施策など	事業主体	事業No.	データの根拠	
		《図書館》 子どもへの読書活動を行っている市民やボランティア団体などに対して、読書活動に関する情報提供や研修会などを実施し、支援する。	・森の図書館で読み聞かせ講座を実施(R1) ・ビッグブックや大型紙芝居のリストを公開するなど、情報提供を実施(随時)	・引き続き、子どもへの読書活動を行っている市民やボランティア団体などに対して、読書活動に関する情報提供などを実施し、支援します。	市立図書館	23	調査票(学校) 質問2(5)、質問9	
		《図書館》 学校図書館ボランティアやボランティア希望者に対して、図書の整理、修理、読み聞かせの講座を行い、学校図書館運営を支援する。	・図書館ボランティア研修を実施(R1)		市立図書館 生涯学習課	24		
		《学校》 学校図書館を効果的に活用するためには、読書の楽しさや素晴らしさを伝え、学ぶことをサポートする職員の存在が極めて重要である。このため、専任の学校図書館司書の配置に努める。	・第一次計画策定時には市内に1名だった学校図書館司書を、公立全小中学校に1名ずつ、高校では市内4校中3校に配置(R2) (学校図書館司書の活動内容…授業の支援、オリエンテーション、ブックトーク、図書館便りの発行、休み時間・図書委員会・読書クラブの活動支援、特集展示、図書館整備など) ・小・中・高等学校で、平成27年度と比較して、貸出冊数・貸出人数が大幅に増加しました。児童・生徒数の上昇と、学校図書館司書の全校配置が影響したと考えられます。 ★アンケートの声 「1校に1人、毎日勤務できる学校図書館司書を設置していただきたい」 「学校図書館司書が常に学校の図書室にいてくださると、子どもの読書意欲が高まると思います」		学校教育課→指導課 学校	43		
		《学校》 学校図書館の業務を担当する司書教諭・図書主任がその役割を果たせるような時間の確保に努める。	・学校図書館担当者におけるひと月の図書館業務従事時間(1校あたり)…小学教員18.3、中学校教員14.3、高等学教員40、特別支援学校10時間。学校図書館司書は小学校31.4、中学校26.9、高等学校155(R2)	・学校図書館司書を含めた学校図書館の業務担当者の、いっそうの従事時間確保に努めます。	学校	44		
		《保育所(園)・幼稚園》 職員は、園内研修の実施や各研修会へ参加し、子どもの発達に応じた資料を選択できる力をつけ、読み聞かせの技術を高めるよう努める。	・保育所(園)では、平成28年度と比較して、施設内研修の実施率が約5%上昇し、研修への参加率は75%→50%程度に下落 ・幼稚園では、平成28年度と比較して、施設内研修の実施率が下落。研修への参加率は約55%→約60%に上昇 ・保育所(園)、幼稚園ともに、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった施設もあるものの、半分程度の施設で読書活動に関連した研修に参加	・引き続き、保育所(園)・幼稚園の職員の研修の実施・参加による、選書や読み聞かせの技術向上に努めます。	保育所(園) 幼稚園	53		
2 家庭・地域、市立図書館、学校等の連携・協力による子どもの読書活動推進	(3)地域・各種機関との連携	《家庭・地域》 ボランティア団体等の協力によるおはなし会の充実を努め、家庭での読み聞かせの大切さをPRする。 ■関連: 目標とする指標①	・職員によるおはなし会に加えて、NPO法人ながれやま葉による定例おはなし会(中央…毎週土曜日/森…毎週土曜日、第1日曜日、第2火曜日/南流山…第1・2土曜日、月1回水曜日)を開催(参加者数…平成29年度6,658人、平成30年度5,906人、令和元年度5,459人) ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部を除き中止	・引き続き、おはなし会の開催を通して、読み聞かせの大切さをPRしていきます。	ボランティア団体 子育て支援センター 公民館	4	調査票(子育て関連施設) 質問2	
		《家庭・地域》 子育て支援センター・公民館・学童クラブ・児童館(センター)のホームページや発行物に、市立図書館のおはなし会等の行事や利用案内を掲載し、参加を促す。 ■関連: 目標とする指標①	・母子手帳交付時に配布される子育てガイドブックに、図書館のおはなし会の情報を掲載	・各施設に図書館行事案内や利用案内を配布し、潜在的利用者の図書館利用の促進を図ります。	子育て支援センター 児童館(センター) 学童クラブ 公民館 市立図書館	5		
		《図書館》 保育所(園)・幼稚園への紙芝居やビッグブック(大型絵本)の団体貸出やブックセットの設置を通じて、読書活動を支援する。 ■関連: 目標とする指標⑤	・市内全保育所(園)・幼稚園へブックセットを設置(～R2) ・団体貸出の利用率: 保育所(園)14%、幼稚園0% (幼稚園は蔵書数が多い施設が多いため、団体貸出の機会も少なかったと考えられます。)	・引き続き、紙芝居やビッグブック(大型絵本)の団体貸出やブックセットの設置を通じて、保育所(園)・幼稚園の読書活動を支援します。	市立図書館 保育所(園) 幼稚園	25		
		《図書館》 小学生のまちたんけん、小・中学生の職場体験、高校生・大学生のインターンシップを受け入れ、図書館への理解と利用促進に努める。	・中央・森・木・こども図書館で、まちたんけん、職場体験、インターンシップを受け入れ(毎年※) ※新型コロナウイルス感染拡大により、R2は中止	・引き続き、職場体験やインターンシップを受け入れ、図書館への理解と利用促進に努めます。	市立図書館 学校	26		
		《図書館》 学校からの依頼により、授業に活用する資料の団体貸出を実施しているが、さらに資料の充実を努め、団体貸出の利用を促進する。また、ブックセットの設置を通じて読書活動を支援する。 ■関連: 目標とする指標⑤	・平成28年度と比較して、団体貸出の利用が小学校で14校→16校、中学校で4校→8校に増加。高等学校は、1校→1校。特別支援学校では利用なし(R2) ・学校へのブックセットの設置は未実施	・学校へのブックセットの設置を検討します。 ・引き続き、団体貸出の利用を促進します。	市立図書館 学校	27		
		《図書館》 おすすめ本紹介や利用案内を学校に配布し、また、こども図書館に「子育て情報コーナー」を設置し関係各課からの配布物を提供する。	・市内全小中学校へブックリストを配布(毎年) ※新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度は学校への配布は中止し、ホームページで公開 ・利用案内を学校に配布(～H30) ・こども図書館に「子育て情報コーナー」を設置	・引き続き、おすすめの本のリストや利用案内を配布または公開します。	市立図書館 学校 関係各課	28		
		《図書館》 保育所(園)・幼稚園・学校との連携をすすめる。選書相談、読書相談への対応を行う。また、市立図書館での学校図書館担当者向け研修会を開催する。	・選書相談、読書相談への対応(随時) ・「ブックトークのやり方」などをテーマとした、流山による講義を実施 ・市立図書館で、学校図書館担当者向け研修会を実施(毎年)	・引き続き、保育所(園)・幼稚園・学校との連携をすすめる。学校図書館担当者と定期的に情報交換を行っています。	市立図書館 保育所(園) 幼稚園 学校	29		
		《図書館》 中央図書館は、市立博物館と連携して中央図書館児童室に設置している郷土資料を集めた「流山コーナー」の充実や、郷土に関するイベントの開催で、子どもたちの流山市への関心と郷土愛を育めるように努める。	・博物館発行の資料を受け入れ、郷土資料コーナーに設置(随時) ・郷土に関する行事として、流山かるたの大会を実施	・中央図書館は、引き続き、市立博物館と連携して、子どもたちの流山市への関心と郷土愛を育めるように努めます。	市立図書館 市立博物館	30		
		《学校》 市立図書館と積極的に図書館運営や選書に関する情報交換を行い、より緊密な連携を図る。	・学校図書館担当者研修会において、情報交換を実施(毎年)	・引き続き、市立図書館と積極的に情報交換を行い、より緊密な連携を図ります。	学校 市立図書館	45		
		《学校》 学校・保護者・ボランティアによる、学校図書館の蔵書整理、資料修理、児童への読み聞かせなどの活動を推進する。	・小学校で17校中16校、中学校では9校全校でボランティアを導入。高等学校、特別支援学校では未導入 ・ボランティアの活動内容…小学校では、朝読書等での読み聞かせを17校中16校で実施。小・中学校で、本の修理・整理、学校図書館司書と協力し、図書館の環境整備を実施。	・引き続き、学校・保護者・ボランティアによる、学校図書館での読書環境の整備や、読書活動の推進に努めます。	学校 保護者(PTA) ボランティア	46		
		《保育所(園)・幼稚園》 図書館職員、地域ボランティアと連携し、様々な人がおはなし会を行うことで、子どもたちの読書経験を広げていくとともに、地域の人々との交流のなかで豊かな心を育む。	・保育所(園)、幼稚園における各種読書活動へのボランティアの導入率は、0～10% (活動内容: 保育所(園)…読み聞かせ、ブックトーク、紙芝居、パネルシアター、幼稚園…読み聞かせ) ★保育所(園)、幼稚園より、市立図書館による出張おはなし会開催を求め声あり		保育所(園) 幼稚園 市立図書館 ボランティア	54		
		(4)読書活動の推進	《図書館》 「おはなし しゅっぱつしんこう」事業(ブックスタート関連事業) ・赤ちゃんと保護者を対象にした「赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの会」の継続 ・乳幼児向けおはなし会を開催 ・保育所(園)、幼稚園、子育て関連施設へ乳幼児向けブックセットを設置 ・乳幼児向けおすすめ本ブックリストの配布 ・市内図書館に乳幼児向けブックコーナーを整備 ・絵本の読み聞かせ講座の実施	・「赤ちゃんとわらべうたの会」は、「赤ちゃんおはなし会」に名称変更し、わらべうたと読み聞かせを組み合わせ実施(毎月) ・中央図書館で「わらべうたであそぼう!」を実施(R2) ・森の図書館で「体験で学ぶ読み聞かせ講座」を実施(R1) ・乳幼児向けおはなし会を中央・森・木・南流山・こども図書館で実施 ・保育所(園)、幼稚園、子育て関連施設へ乳幼児向けブックセットを設置 ・ブックリスト「友達100冊できるかな」を新生児訪問時に配布 ・市内図書館に乳幼児向けブックコーナーを整備 ・読み聞かせ講座を実施 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、お話会の開催は不定期		市立図書館 (保育所(園) 幼稚園 児童センター 保健センター)		15
			《図書館》 「どくしょつうちょう」を各市立図書館や市内小・中学校及び図書館で配布、(H29…市内小・中学校の児童・生徒全員に配布、H30…市内小・中学校の新一年生全員に配布 その後は依頼があれば都度送付)、図書館ホームページで公開	・「どくしょつうちょう」を各市立図書館や市内小・中学校及び図書館で配布、(H29…市内小・中学校の児童・生徒全員に配布、H30…市内小・中学校の新一年生全員に配布 その後は依頼があれば都度送付)、図書館ホームページで公開		市立図書館 学校		16

基本方針 (施策)	施策の詳細	計画の中の関係事業	関係事業の実施状況(平成29年度～令和2年度)	次期計画での記述・施策など	事業主体	事業No.	データの根拠	
		《図書館》 現在の「おはなし会」に加え、手遊び・わらべうたを交え、年齢に応じたおはなし会を行っていく。また、バリアフリーおはなし会も開催していく。 ■関連: 目標とする指標①	・各図書館で、手遊び・わらべうたを交えたおはなし会を実施(毎週～毎月) ・中央図書館にて、講師を招き「わらべうたであそぼう!」を開催(R2) ・森の図書館にて、バリアフリーおはなし会(手話付きおはなし会)を開催(H28～毎年)	・引き続き、年齢に応じて、手遊び・わらべうたを交えたおはなし会や、バリアフリーおはなし会を開催します。	市立図書館 ボランティア	17		
		《図書館》 市立図書館では、子ども向けの事業をボランティア団体とともに開催し、幼児や小学生が図書館に来館するきっかけづくりを更に推し進めるとともに、これらの事業のPRIにも努める。 ■関連: 目標とする指標①	・NPO法人ながれやま葉と連携し、おはなし会を実施(毎週「～毎月」) ・図書館を会場として、ボランティア団体による人形劇を実施(毎年)	・引き続き、子ども向けの事業をボランティア団体とともに開催し、子どもの市立図書館への来館を促進します。	市立図書館	18		
		《図書館》 中・高校生向けの図書・CD・DVD・雑誌の幅広い収集に努め、ティーンズコーナーのレイアウトを工夫し、中・高校生の来館につながるよう努める。 ■関連: 目標とする指標④、⑥	・ティーンズコーナー専用のサインを作成するなど、手に取りやすいレイアウトの工夫(随時) ・第一次計画策定以降、南流山分館、初石分館にティーンズコーナーを新規設置	・引き続き、中・高校生向けの資料の幅広い収集とティーンズコーナーの充実を努め、中・高校生の来館につなげていきます。	市立図書館	19		
		《図書館》 協定を結んでいる市内大学図書館の利用を、高校生にPRする。	・未実施		市立図書館 市内大学図書館	20		
		《図書館》 子どもが本を使って調べやすいブックリストやパスファインダー(調べ方ガイド)の作成をすすめ、自発的な読書活動の手助けをする。 ■関連: 目標とする指標③、④	・小・中学生向けのブックリストを夏休み前に発行し、学校及び図書館で配布するとともに、図書館ホームページで公開(毎年) ・家庭読書におすすめの本のリストを発行し、図書館で配布するとともに、図書館ホームページで公開(R2) ・パスファインダー(調べ方ガイド)を作成(R3)	・引き続き、ブックリストやパスファインダーを作成・公開し、子どもの自発的な読書活動を手助けします。	市立図書館	21		
		《学校》 「朝の読書活動」や「読み聞かせ」により、子どもの読書習慣を定着させ、学校図書館を利用した調べ学習を促進していく。	・朝読書などの、全国一斉読書活動を半数以上の学校で実施中(R2現在) ・新型コロナウイルス感染拡大による休校のため生じた日課変更により実施できなくなった学校もあり、平成28年度と比較して、小学校で実施校が減少(14校→9校)		学校	40		調査票(学校) 質問1
		《学校》 学校図書館オリエンテーションを実施し、計画的に学校図書館の利用指導を行う。	・オリエンテーションの小中学校での実施率は、平成28年度から大幅に上昇し、ほぼ全校で実施(小学校7校→15校、中学校5校→9校)(オリエンテーションは、主に学校図書館司書が実施している。全小中学校に学校図書館司書を配置したことが、オリエンテーション実施率の上昇に寄与していると考えられる)	・市内全公立小・中学校への学校図書館司書の設置を実現したことが、オリエンテーションの実施率上昇につながりました。オリエンテーションの実施は、児童生徒の学校図書館の利用を促進するにあたって不可欠です。引き続き、学校図書館司書の適切な配置と、学校図書館オリエンテーションの実施に努めます。	学校	41		調査票(学校) 質問2(8)
		《学校》 学校図書館の活動計画を作成し、日常の教育活動において、より効果的に学校図書館が利用されるように努める。	・学校図書館の活動計画の作成率(平成28年度→令和2年度)…小学校13校→13校、中学校6校→4校、高等学校2校→2校	・引き続き、学校図書館の活動計画を作成し、日常の教育活動において、より効果的に学校図書館が利用されるように努めます。	学校	42		調査票(学校) 質問2(9)
		《保育所(園)・幼稚園》 絵本や紙芝居の読み聞かせをすることにより、子どもたちに本の楽しさを知ってもらえるように努める。	・保育所(園)では、平成28年度と比較して、読み聞かせと素話の実施率はほぼ同一、ブックトークの実施率は半数近くに増加(R2) ・幼稚園では、平成27年度と比較して、読み聞かせブックトーク、紙芝居、パネルシアターの実施率が増加傾向。読み聞かせとパネルシアターの実施率が100%に上昇(R2)	引き続き、絵本や紙芝居の読み聞かせなどを実施し、子どもたちに本の楽しさを知ってもらえるように努めます。	保育所(園) 幼稚園	51		調査票(子育て 関連施設) 質問3(1)
《保育所(園)・幼稚園》 早くから図書館に親しみ、絵本を手にとって選ぶ楽しさを味わえるように、園児が市立図書館へ行く機会を増やす。	・絵本を対象年齢別に配置するなど、選びやすい棚づくりを工夫 ・各館に乳幼児向けブックコーナーを設置し、年齢別ブックリストを配布		保育所(園) 幼稚園 市立図書館	52				
3 子どもの読書活動に対する理解・関心の向上と普及	(5) 読書活動の啓発・普及	《家庭・地域》 「おはなししゅっぱつしんこう!」事業(p14参照)として、市立図書館作成の乳幼児向けブックリストを母子手帳交付の際に配布し、妊娠時から保護者に家庭での読み聞かせの大切さの普及と促進を図る。	・「おはなし会」の案内チラシ「そうだ!おはなし会にいこう」を、保健師の家庭訪問時に持参		市立図書館 市民課 健康増進課 (保健センター)	6		
		《家庭・地域》 子どもや保護者が本を選ぶ手助けとなるように、市立図書館発行のおすすめ本のブックリストを活用する。	・未実施	・児童館・学童クラブと連携して、図書館発行のブックリストを家庭・地域へ届けることを目指します。	児童館(センター) 学童クラブ 市立図書館	7		
		《家庭・地域》 「子ども読書の日」(4月23日)を記念して、「子ども読書まつり」等の事業を行い、読書への関心を高める。 ■関連: 目標とする指標③、④、⑥	・流山市子どもの読書活動推進計画策定記念・子ども読書の日記念事業「長くつ下のピッピの国スウェーデンと北欧の子どもの本」実施(スウェーデン大使館後援)(参加人数1,995人)(H29) ・子ども読書の日記念行事「子ども読書まつり」(会場: 森の図書館)や展示(各館)を実施(毎年)		ボランティア 市立図書館	8		
		《図書館》 学校等で読み聞かせをしているボランティアグループと連携を図りながら、子どもたちが本に親しむ機会が増えるように努め、読み聞かせや読書普及のPRを進める。 ■関連: 目標とする指標①、③、④、⑥	・NPO法人ながれやま葉によるおはなし会やクリスマス会を実施(毎年)	・引き続き、ボランティアグループと連携し、読み聞かせを通して読書普及に努めます。	市立図書館 ボランティア	31		
		《図書館》 関係各課と連携し、家庭読書の具体例の紹介やPRを行い、保護者への読書啓発に努める。	・図書館ホームページ内に家庭読書のページを作成(R2) ・家庭読書におすすめの本の展示や、ブックリストの公開・配布(R2)	・関係各課との連携による、家庭読書のさらなる普及を目指します。	市立図書館 関係各課	32		
		《図書館》 「子どもの読書週間」「読書週間」期間に合わせて展示やイベントを実施(毎年) (イベントの内容…映画会、クイズ、おすすめの本の紹介、読み聞かせ、工作)		・引き続き、「子どもの読書週間」「読書週間」期間に合わせて展示やイベントを実施し、子供の読書活動をPRしていきます。	市立図書館	33		
		《図書館》 流山市や市立図書館のホームページに利用案内や新着図書情報、各図書館行事を掲載し、また、インターネットを使った資料の検索、フェイスブックやツイッターの活用など、更なる情報の発信に努める。	・ホームページに各種情報を掲載、更新(随時) ・中央図書館ではフェイスブック、森・木・子ども図書館ではTwitterを活用し、行事情報などを発信(随時)	・引き続き、ホームページやSNSを活用し、情報発信に努めます。	市立図書館	34		
		《学校》 学校だより、図書館だより、PTAだよりなどを利用して読書活動の意義などを保護者や地域に広め、読書への理解を深める。	・保護者への読書活動啓発(平成28年度→令和2年度)…小学校14校→12校、中学校4校→8校、高等学校0校→1校。 (平成28年度は4校で集会により読書活動啓発を行っていたものの、令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施しにくい状況であったことも一因と考えられる) (啓発手段…学校だより・学年だより・図書だより夏休みのしおりの発行、保護者会、集会、地域の児童館・図書館や、出版社の便り)	・引き続き、学校だより、図書館だより、PTAだよりなどを利用して読書活動の意義などを保護者や地域に広め、読書への理解を深めていきます。	学校	47	調査票(学校) 質問7	
		《学校》 「子ども読書の日」(4月23日)や「子どもの読書週間」(4月23日～5月12日)、「読書週間」(10月27日～11月9日)を児童生徒や保護者へ周知し、読書への関心を高める。	・期間中、小学校を中心に多くの学校で、ポスター掲示、広報での周知、本などの展示、関連イベントを実施(関連イベントの内容…「移動図書」、「R1グランプリ」、「読書ビンゴ」、「読書の木」(図書委員による読み聞かせ、「スタンプラリー」、「本の特集」、「ブックフェスタ」、「読書チャート」、「本の紹介・特集」、「本の福袋」、「スタンプラリー」、「出張図書」)	・引き続き、「子ども読書の日」(4月23日)や「子どもの読書週間」(4月23日～5月12日)、「読書週間」(10月27日～11月9日)を児童生徒や保護者へ周知し、読書への関心を高めていきます。	指導課 学校	48	調査票(学校) 質問8	
		《保育所(園)・幼稚園》 職員は、保護者に対して、講演会の開催やパンフレットの配布で読書活動の啓発を図る。	・保護者に向けた読書啓発活動の実施率(平成28年度→令和2年度)…保育所(園)80%→約65%、幼稚園40%→60% ・過半数の施設で、保護者に向けた読書啓発活動を実施	・引き続き、保護者に対して、読書活動の啓発を図ります。	保育所(園) 幼稚園	55	調査票(子育て 施設) 質問4	
《保育所(園)・幼稚園》 保護者が本を選ぶ手助けとなるように、読書活動の案内や絵本の紹介を、掲示物や園だよりを通して行う。	・各施設で、クラスだよりなどの広報での絵本紹介や読書活動の案内、保護者向けの講座の開催、本の貸出、保護者にお子さんの気に入った絵本を伝える、絵本の展示、観覧・説明会などを実施	・引き続き、読書活動の案内や絵本の紹介を、掲示物や園だよりを通して行うなど、保護者が本を選ぶ手助けとなる活動を実施していきます。	保育所(園) 幼稚園	56	調査票(子育て 施設) 質問4			